



V SHOT 5 企業のプロモーション用に
オリジナルのお菓子を制作する会社。

楽しく、おいしく、 企業をアピールする 世界で唯一のお菓子。

一般的に企業のプロモーションツールといえば、社名や電話番号、ホームページのURLを印刷した、ボールペンやメモ帳等の事務用品がすぐに思い浮かぶ。しかし、こうしたものには、企業をアピールするスペースが限られており、本当に知らせてい情報に十分に伝えられない課題があった。そんな企業のニーズにオリジナルのお菓子をつくって応えているのが、「エスプライド」の「働くお菓子」だ。

たとえばある自動車教習所では、厚紙でつくった車の形を模したパッケージの中に、オリジナルのラムネを入れたツールを作成。車のボディには社名やピンクのハートがデザインされている。これを大学で開催するリクルート用のキャンペーン等で配布したところ、大きな反響を呼んだ。またある大学では、学校の湘南というイメージから連想した船の形のパッケージをつくり、中に大学のロゴマークをデザインした飴を入れた。パッケージには大学の概要等の伝えたい情報もしっかりと記載されている。



代表取締役CEO 西川 世一

「もともと私の実家ではギフト箱等のパッケージ制作を行っていたのですが、その制作のノウハウを活かしたビジネスを考えていた時に菓子と出合いました。お客さまに選んでもらったお菓子を、オリジナルのパッケージの中に入れて、その会社だけのプロモーションツールが完成する。お菓子をもらって嫌がる人はいません。それに渡す際にもパッケージがコミュニケーションのきっかけになってくれますから、セールスプロ

どちらも、まず見た目のパッケージで興味をひき、中を開けるとさらにユニークなお菓子が出てくるという仕掛けだ。パッケージを見るごとに、お菓子を食べるごとに、その企業を思い浮かべるきっかけが生まれる。このように世界に一つだけの、企業オリジナルツールとして活躍している働くお菓子だが、その最大の特長は、小ロット、低価格、短期納入で制作できることにある。

エスプライドの働くお菓子は、300個〜1,000個程の小ロット生産に対応し、企画から納品まで制作期間は約25日〜1カ月。予算も約20万円〜50万円と高額のコストを要さない。企業のプロモーションツールにお菓子を使うという発想に加え、低価格、短期納入に徹して、幅広いクライアントに応える体制を確立。企画からデザインまでをすべて社内スタッフが手掛けており、これが大きな原動力になっている。



モーションには最適だと思ったので、少し堅いイメージのある会社でも、お菓子を使うことで、遊び心のある親密な印象を与えられます。今は様々なものがデジタル化しつつあるからこそ、こうした手づくり感のあるものが、人と人とのコミュニケーションに求められているのだと思います」と、株式会社エスプライド代表取締役CEOの西川世一氏。

エスプライドの設立は2005年。わずか5年足らずの間に企画・制作したオリジナルのお菓子は4,000種類を超え、クライアント企業は延べ2,500社を数える。ベンチャー企業用のプロモーションツールだけではなく、そのクオリティの高さから大手企業のキャンペーン企画等、事業の幅も大きく広がりは始めている。

エスプライドが開発したオリジナルお菓子のヒットは、優れたパッケージのデザインだけではなく、従来のセールスプロモーションにはない、新しいビジネスモデルを開拓した、ブランドデザインの勝利ともいえるだろう。



「働くお菓子」を展開する 「エスプライド」

ユニークなパッケージを開けると、中から出てくるオリジナルのお菓子。これは「働くお菓子」と名付けられた、企業をアピールするためのプロモーションツールだ。「エスプライド」は、お菓子を媒介にして企業と顧客、人と人を結ぶツールを数多く開発している。お菓子の持つ楽しさに、企業のメッセージを込めるといったコンセプトで、新たな市場を開拓したベンチャー企業の取り組みを取材した。

株式会社エスプライド ホームページURL <http://www.esspride.com/> <http://www.okashi-original.jp/>

